

「ブナ林再生」育樹ボランティア活動を支援

下北森林管理署

10月24日（金）に、むつ市佐藤ヶ平地区の葉色山国有林で、むつ市大畑町林業振興対策協議会、当署モニター、フォレストボランティア員及び当署職員の総勢26名が協働でブナ幼齢林の保育作業を行いました。



当該ブナ林は、かつての採草放牧地であり、平成12～13年にササ地化した跡地にブナを植栽しましたが、雪害、風害、野兎食害及びササとの競合により、植栽木の生育が遅い状況にありました。

こうした中、地域の住民・NPOの皆さんがボランティアで故郷のブナ林を早期に再生したいとの要望に応え、平成19年から、雪害・獣害対策の支柱・ツリーシェルター設置・修理やブナの成長状況観察等を協働で行っているものです。

ここ数年は、協働作業の効果により、成長良好なブナも確認できるようになり、個々のブナの成長状況に合わせた三本支柱の修理、一本支柱化、幼齢木ネットの撤去を行っています。

当日は、晴天に恵まれ心地よい汗を流しながら、むつ市大畑流域の豊かな水資源の一助となることを願い、参加者全員が一生懸命作業に取り組み、事故なく作業を終えました。

